

平成21年度 第2回 荒川地区地域審議会 議事録

1. 開催日時 平成21年8月20日（木）午後3時30分
2. 開催場所 荒川支所 3階第1・2会議室
3. 出席委員 山本克男、小川 巖、片岡 弘、田島 勉、近藤 久、
会田健次、石山 健、小関シヅ子、山田俊治郎、石山忠一
4. 欠席委員 鈴木 薫、松田克広
5. 出席職員 平野荒川支所長
(事務局) 荒川支所地域振興課；小川係長、須貝主任
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

平成21年度 第2回荒川地区地域審議会次第

日 時：平成21年8月20日 午後3時30分～
会 場：荒川支所 3階第1・2会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協 議

(1) 荒川地区の活性化に向けた意見書の提出について

4 その他

5 閉 会

会 議 経 過

支所長；本日は、ご多用中のところ、本年度第2回目の地域審議会の開催にあたり、ご出席を賜りまして大変ありがとうございます。本日の議題は、前回より引き続き、「荒川地区の活性化に向けた意見書の提出について」をご審議していただきます。資料は本日の会議次第と前回皆様からいただいた意見をまとめたものを配付しております。それでは、本会会長より開会の挨拶をお願いいたします。

1. 開会

2. 会長あいさつ

会 長；皆様方には、ご多忙中にも関わらず、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。これより第2回地域審議会を開会いたします。本日は前回の会議に引き続いての議題となります。本地域審議会から市長に提出する意見書で、どのようなことをテーマとして取り上げるかを今回決定したいと思います。委員の皆様から活発にご意見を出していただいて、進めていきたいと思いますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

3. 協議

支所長；ありがとうございます。早速、本日の会議に移りたいと思いますが、前回と同様に、本会会長より進行のほうをお願いいたします。

会 長；それでは、私の方で進行を務めさせていただきます。議題の1、協議「荒川地区の活性化に向けた意見書の提出について」を議題とします。前回からの引き続きですが、事務局から説明等ありますか。

支所長；前回欠席された方もいらっしゃると思いますので、若干説明させていただきます。前回の会議では、今年度の地域審議会の活動として、地域の施策等について市長に対して意見書を提出することを決定していただきました。これは、地域審議会の設置に関する協議書 第3条に規定されております。この意見書をまとめていくやり方として、まず、この地域の活性化策や合併後の不満など、どのような事でも自由にご意見を出していただいて、その中から意見書に盛り込むテーマを決定してはどうかということで、前回いろいろなご意見をいただきました。今回は、引き続き自由にご意見を頂戴した中から、意見書に何を盛り込んでいくかを決定していただきたいと考えております。お手元に前回いただいたご意見をまとめた資料を配付しておりますので、これについてご説明させていただきます。

事務局；お手元の資料A 4一枚ものをご覧下さい。これは、前回会議で委員の皆様からいただいた主なご意見をまとめてみたものです。

①は、高速交通網の整備に伴う空洞化対策として、総合計画の基本構想にも謳われている「商業機能の適正配置」を検討して充実させていくべきではないかというご意見です。

②は、県立坂町病院はこの地域の医療拠点施設として守っていかなければならない。病院の利用状況から、自宅からの移動手段との関係が重要であると考えられ

る。公共交通ネットワークを検討する中で、坂町病院の利用者増、利用者の範囲拡大に繋がるのではないかというご意見です。

③は、教育基本構想で「ここで生きる」というスローガンを掲げているけれども、学校を卒業してこの地域で就職しようとしても十分な職場が確保されていない状況だ。立地のよさを生かして、今から企業誘致や産業支援に取り組んでおくべきではないかというご意見です。

④は、村上市の南の玄関口として今後の発展を考えたとき、老朽化した公共施設が多く、景観上マイナス面が目立つので、景観整備に取り組んでみてはどうかというご意見です。

⑤は、里山を活用した事業などに民間で取り組んでいるものに対して育成していくことが大事ではないかのご意見です。

⑥は、米の値段が上がらず、基幹産業である農業が疲弊していたのでは、地域の活性化は望めない。清流日本一の「荒川」の名前を活かし、「荒川米」として売り出すことで活性化に繋げることができないか。また、米に限らず、各産業分野でも「荒川」の名を広く活用することに取り組んでいくべきだとのご意見です。

①から③までの共通点として、交通アクセスの良さや県立病院が立地しているといった「地域の特性」を生かした環境整備について。④から⑥に共通するものとして、利便性の良さや自然環境といった「地域の良さ」をPRする取り組みについて。前回の皆様のご意見から、2つのテーマを導きだすことができると思いますが、出た意見の中からどれかを選ぶ方法もありますが、集約していく方法のほうが、より多くのご意見を生かせるのではないかということで、意見書をまとめる一つの方法として提案させていただきました。また、今回出されるご意見についても、この中に組み込んでいくか、新たなテーマとして付け加えていくことができると思っています。なお、資料では箇条書きになっておりますが、これを文章化、肉付けをしていって意見書の形にしたいと考えております。

会 長；ただいま事務局から説明がありましたが、意見書をつくるための骨子として、前回の会議で出された意見を集約して2つのテーマを考えてみたとのことですが、これについて皆さんから付け足すもの、また、このほかの意見などありましたら出していただきたいと思っております。

委 員；「荒川米」についてですが、「岩船米」に名称を統一する際に侃々諤々の議論をして、やっと「岩船米」で定着しつつあるときに、また「荒川米」ということになると歴史の繰り返しのようですし、もう既に「荒川米」はほとんど知られていないと思っております。

委 員；スーパーなどで米を見てみると、岩船コシヒカリのパッケージの下に「朝日」とか入っているのを見ますが、あのように入るのは出来ないのでか。

委 員；今は産地表示が厳しくなっていますので、朝日でとれた米ということを消費者に分かるようにしているものです。例えば、海老江の生産組合がどこかのスーパーにいつも出荷していることをお客さんに周知するために、海老江の岩船米として売り出されるということはありません。

- 委員；ブランドとして岩船米の中の荒川米、日本一の清流で作った安心して食べられる米として、他の岩船米と喧嘩にならないやり方で売ることでもあるのではないですか。
- 委員；岩船米そのものの知名度が低い中で、その中の荒川米といっても周知していくには相当の時間を要すると思います。
- 委員；時間がかかることでも、次の時代のためにやっていくべきことだと思う。
- 委員；ここでできる米、花卉などの特産品を市として奨励していくことが大切だと感じます。その成果が出てくれば、全国的に広がっていくのではないのでしょうか。
- 会長；ブランド名として「荒川米」という表示をすべきではないということでしょうか。
- 委員；私は岩船米の知名度を高めることが先だと考えます。岩船米の中で産地間競争になってしまうことが懸念されます。また、卸売業のほうは絶対のつてこないと思います。パッケージ一つ作るのも何千万円とかかりますから。
- 委員；JA独自でできることはどこまでかという問題だと思う。全農までいくとなかなか難しいでしょうから。
- 委員；JAが岩船コシヒカリの中で、荒川産とか朝日産とかで各卸売業者にあっせんするというのは可能だと思います。それでもパッケージに関してお金の問題が生じるということです。
- 委員；私は関川村出身で、関川村の米はうまいんですよ。今、差別化の話になっていますが、差別化するとしたら、逆に困るようなことになりませんか。
- 委員；実際にどこの米はうまいなどは言えませんが、昔は上流地域の排水が下流地域の用水になっていて、味の良し悪しの根拠はあったのですが、パイプかんがなくなった今でも、そのイメージが残っているのではないのでしょうか。基本的に農家は自分の作った米が一番美味しいと思って作っているんです。
- 委員；米単体で考えずに、荒川の清流で育ったというイメージを使って、米を使った加工品などを売り出していくほうが現実的だと思います。
- 委員；東京の荒川区で「川の手荒川まつり」というのがあって、毎年特産品を持って行くのですが、米もけっこう売れていますよ。そういう地道なPRをしていくことも大事ですね。
- 委員；前に県の醸造試験場にいた嶋悌司という人がいまして、定年前に退職して朝日酒造の理事か何かには就いたのですが、まずまわりに蛍が住めるような場所をつくらうと取り組んだそうです。そしてどんな所で酒が造られているか見てもらうというのが彼の哲学なんです。そういう意味で、荒川の米も清流の非常に良い環境で作られているということが目に見える形で市としてPRしていかなければならないと思います。
- 委員；荒川地区は、利便性は高いもののこれといった特徴がない地域ですが、その中で川がすごくきれいな川であることは挙げられると思います。鮭、マス、鮎釣りでは人が集まって来る。環境の良さをもっとPRして、九州の湯布院のようなイメージで強調できればと思いますね。
- 委員；③の企業誘致といっても今はなかなか難しい状況だと思います。若い人たちが

ここで安心して生活できるために重要な要素として「子育て」が挙げられます。保育施設の充実や医療の面、坂町病院の産婦人科医を常勤にしてもらうなど、また、医療費助成の充実、これらを組み合わせて、若者がUターンできる環境づくりを考えるべきだと思います。

会 長；合併前の荒川町時代にも総合計画を作る際にベッドタウン化を目指すべきだという話が出まして、計画にも載っていると思います。

委 員；高速道路が整備されて、益々利便性が上がってくるようになりますが、ベッドタウン化を進めていくことで消費が増え、様々なニーズに応える施設等も出来てくるのではないのでしょうか。そして、自ずと雇用の環境も良くなってくると考えたほうが早道だと思います。民間の宅地開発も良いのですが、市有地を積極的に開発して、市で安く提供していくことも検討していただきたいと思います。

委 員；病院の跡地と前坪住宅の今後について、非常にいい場所だと思うので、しっかりと考えていかなければならないと思います。

現在の沢見工業団地がありますが、西大通り線につなぐ道路について前から要望していたのですが一向に進まなかった経緯があります。今ある工場をもっと大事にしていかなければならないのではないのでしょうか。

委 員；その道路については、昨年区長会として市に要望して、やるとの回答をもらいました。

支所長；ご指摘の道路については、合併前にまちづくり交付金事業で計画していたのですが、合併と同時に計画が頓挫した経緯があります。区長会の要望を受けて、調査設計を今年度中にやり、来年度中には工事に着手できるのではないかと思います。

会 長；医療や子育ての面も含めて、住環境の整備について、事務局のほうでももう少し肉付けしてみてください。

委 員；旧村上と旧荒川が人口が微減ですんでいるのは、村上病院や坂町病院があるからで、負担をしてもいいから先生方を常勤にもらって、安心して住める環境を整備していくと、人口も増えていくと思います。

支所長；ハード面の環境整備を考えるときに土地利用構想が大事になってきます。若者が働く場がないので企業誘致をすとしても、当然、都市計画決定をしなければならぬこととなりますので、どこに誘致するかの問題が生じます。

委 員；それについては村上市全体で考えたほうが良いのではないですか。村上の工業団地が空いている訳ですので、企業誘致は村上地区で、荒川はベッドタウン化していくべきではないのでしょうか。

会 長；交通網も整備されてきて、通勤範囲内にある訳ですし、村上市内で地域分担して、荒川地区はベッドタウンとして活性化を目指していく。そのためにはどのような条件整備をしていくことが必要かを考えていくべきだということですね。

里山の活用などに取り組んでいる民間の活動とは、具体的に何かあるのですか。

委 員；貝附で竹林を利用して炭を作っている民間の取り組みがあります。こういったものに対して支援していくことも大切ではないかということです。

委 員；今、そういう竹林などをきれいにするための国からの助成があるので、利用す

れば採算的に良いのではないですか。関川村ではどんどんやっています。

委員；関川村のような大規模な山林ではないし、自分たちが住んでいる所の目の前の場所ですので。

委員；地域の人がボランティアでやってもいいよという感じに、地域から盛り上がってこないと駄目でしょうね。

会長；この件について、少しインパクトが弱いので、肉付けするか、他と合わせるか考えたほうが良いのではないですか。

委員；農地・水・環境保全の取り組みは清流を保っていくための取り組みでもありますので、“清流と里山”という視点で結び付けてみてはどうですか。

会長；景観の整備に対する意見についてはいかがですか。

委員；7号線を通っていて、村上市に入ったとたんに関朽化した公営住宅が目に入ってくるのは、景観上好ましくないという意見だったのですが、この住宅だけでなく、全体的な景観整備に取り組んではどうかということです。

委員；公営住宅の土地は病院跡地と合わせると相当の広さになりますね。統合保育園や老人施設なども合わせて考えていったほうが良いと思います。

支所長；前坪住宅は50戸の入居件数がありますが、他に移ってもらう場所もないため、関朽化はしていますがそこに入居されている状況です。

委員；耐震の問題もありますので、集合住宅等を検討してみてもいいのではないのでしょうか。

会長；景観の件について、肉付けする要素として他にないでしょうか。

委員；荒川の土手の花文字など、ボランティアの景観活動など付け加えてはどうですか。

事務局；特色のある緑の公園を造る会で取り組んでいる荒川クリーン作戦などの事業も景観整備と考えることができます。

支所長；会長からいくつかの項目のインパクトが弱いとお話ですが、お手元の資料は前回頂いた意見を箇条書きにしております。今後はこれを2つのくりごとに文章化して、意見書の原案をつくっていくことを事務局では考えています。そういったやり方でよろしいでしょうか。

委員；はい。

会長；その他、皆さんのほうからご意見などありますか。

委員；「清流あらかわ」という要素は大いにPRしていくことが必要だと思います。また、坂町病院はこのままでは存続も危ぶまれる状況という話も聞きます。何としても守っていかなければと思いますので、この2点は意見書に入れて訴えていくべきだと思います。

委員；坂町病院については、MRIなど高価な機器の導入に対して、利用する地域住民も負担する位の気持ちで取り組んでいくことが必要ではないでしょうか。

会長；村上総合病院に対しては以前に機器の導入のため負担金を出したことがあります。他にご意見はありませんか。無ければ、今日出されたご意見も集約して、次回に意見書の案をお示しして、皆さんにご審議いただきたいと思います。

4. その他

会 長；次にその他に移ります。皆さんのほうからその他について何かございますか。

委 員；道の駅については、その後どうなったのですか。

支所長；国では、高速道路の本線がまだ繋がらない状況で、道の駅を考えるよりは本線の延伸が先ということで、道の駅については頓挫したということです。

委 員；地区の団体などが市議や市長、副市長などと懇談する機会について考えてはどうでしょう。

委 員；区長会では要望のため市議と懇談会をやっています。

委 員；商工会では年1回行政懇談会をやっております。

委 員；ふれあいトークも昨年度からやっていますね。

支所長；今年度のふれあいトークについては団体を対象に実施しました。今回は青少年育成市民会議にお願いしました。また、秋にもう1回開催する予定ですが、対象については未定です。

会 長；合併して首長との距離が遠くなった。各種の団体から出してもらって話し合いする場について考えてみても良いのではないですか。

支所長；この件については市長とも相談してみます。

会 長；ほかにありませんか。無ければこれで今日の審議会を閉じさせていただきます。長時間ご苦勞様でした。

午後5時 閉 会